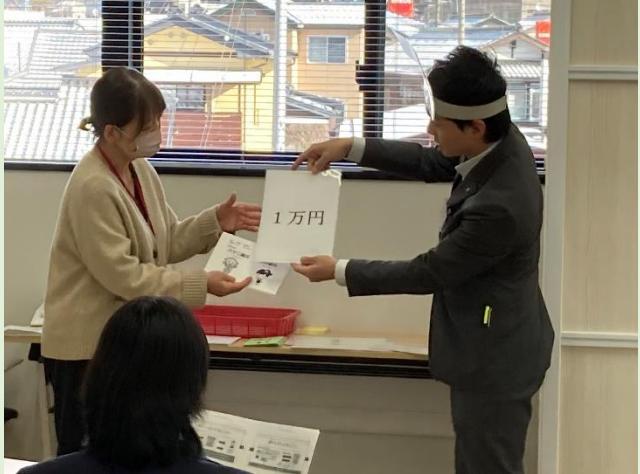


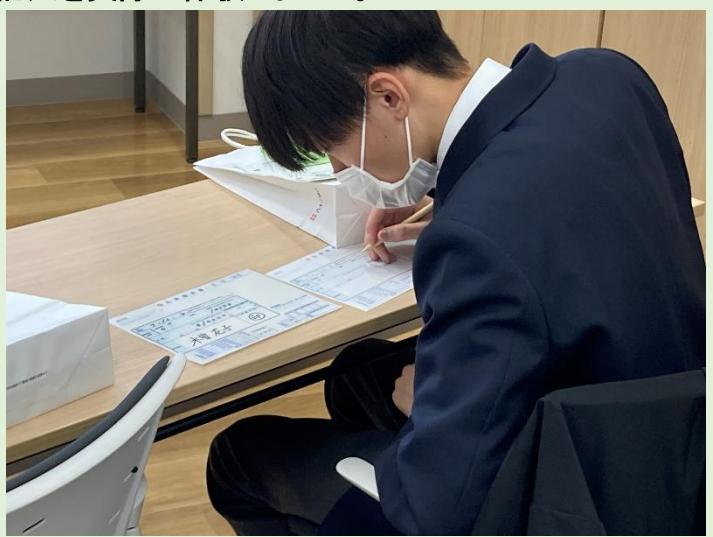
地域との交流～高等部・銀行見学～

12月4日、高等部の生徒が八十二銀行福島支店を見学しました。

昨年度に続き、事前に「お金の成り立ち」や「銀行の役割」について学習してからの訪問です。



まず銀行の方から、銀行の役割について寸劇を交えたわかりやすい説明をいただきました。銀行口座の仕組みや、お金を預ける・下ろす・送金する・借りるといった基本的な機能について学びました。さらに、通帳やキャッシュカードの役割、暗証番号の管理など、利用時の注意点についても丁寧に教えていただき、生徒たちは真剣に耳を傾けていました。その後、払戻票の記入を実際に体験しました。



続いて、ATM操作とお札を数える体験学習を行いました。

手作りATMを使って実際にお金を預けたり引き出したりする操作を体験しました。



画面の表示を確認しながら、金額の入力や暗証番号の扱い方など、普段の生活に役立つポイントを学ぶことができました。

さらに、お札を数えたり破れや汚れがないか確認したりする「札勘(さつかん)」の作業も体験しました。銀行員の方から、お札の挟み方やはじき方といった専門的な技術を丁寧に教えていただき、生徒たちは楽しそうに挑戦していました。普段の生活ではなかなかできない貴重な体験に、生徒たちは目を輝かせていました。

見学を終えた生徒からは、「銀行では通帳やカードが必要になることがわかりました」「お札を数える体験がとても楽しかったです」「ATMでお金を引き出すとき、千や万の位の入力の仕方を学べてよかったです」といった感想が出されました。普段の生活ではなかなか体験できないことを学び、銀行の仕組みをより身近に感じることができたようです。

今回の見学・体験を通して、銀行の役割やお金の扱い方にについて理解を深めることができました。地域の金融機関である八十二銀行福島支店の皆様に、体験を通して学ぶ機会をいただいたことに心から感謝いたします。

こうした地域とのつながりを大切にしながら、今後も生徒たちの学びを広げていきたいと思います。

